

利用者様 声だより 第3号(R7.7.7)

岩田坂で一人暮らしをしていた息子が、6年前に救急搬送され、河村病院に入院しました。息子がネコを飼っていたため、羽島市の二世帯住宅から私だけが岐阜市へ移り住みました。その後、孫娘2人も嫁ぎ、日中は夫が一人きりの生活に。コロナの1回目の予防接種後、夫の体調に異変があり、一人暮らしは難しいと感じ、夫も岐阜に迎えました。

ヘルパーさんからデイサービスを勧められましたが、夫は一人で行くことを嫌がりました。私自身も疲れがたまり、要支援の認定を受け、2022年12月から「あったかデイサービス」に通い始めました。

スタッフの温かい声かけや豊富な活動に励まされ、感謝の気持ちでいっぱいです。友人もでき、ご近所にも恵まれ、岐阜での暮らしに安心と喜びを感じています。現在、夫は週2回利用しています。私も週2回通えるようになることを願っています。また、認知症だった母が施設で亡くなり、自分も不安に感じていましたが、鈴木先生の認知症予防のご指導で「このまま続ければ大丈夫」と言ってもらい、安心できました。

K様（要支援1）岐阜市

監修

認定作業療法士 鈴木 彰太

藤田医科大学 講師・国立研究開発法人長寿医療研究センター外来研究員